

すずか税のたより

第137号
令和5年11月発行

主催及び発行者

鈴鹿納税貯蓄組合連合会
TEL.059-371-0711
(鈴峰企業(株)内)

協賛

鈴鹿税務連絡協議会

令和5年度
応募状況

作文

505編

習字

1,694点

絵はがき

1,063点

標語

2,827点

小学生の絵はがきコンクール



鈴鹿税務署長賞

鈴鹿市立椿小学校
5年 小林 花奈香

小学生の税に関する習字

税金は形を変えてそばにいる

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 1年 平子 心湖

鈴鹿税務署長賞

中学生の税の標語

飯野小 6年 水野 晴菜
生税 活と

鈴鹿市立飯野小学校
6年 水野 晴菜

三重県教育委員会賞

天名小 5年 伊藤 希羽
生税 活と

鈴鹿市立天名小学校
5年 伊藤 希羽

鈴鹿税務署長賞

中学生の 税についての作文

三重県教育委員会賞

私にできること

亀山市立中部中学校 3年 中原 綾音

私は小さい頃、体が弱くて、よく高熱を出したり、食べ物をもどしたりした。だから、病院にお世話になることが多かった。その医療費は両親が払っているものだと思っていたが、少し大きくなってから実はそうではないことを知った。医療費は、中学生の私は健康保険が七割を負担してくれ、残りの三割の自己負担分は、中学校を卒業するまで市町村の子ども医療費助成金という税金が払ってくれている。つまり、みんなが病院に行くほど、納められた大切な税金がだんだん減っていってしまうということだ。だから、節約のために、我が家は処方してもらう薬を価格の安いジェネリック医薬品にしている。

また、熱さましや座薬などの使用期限が長いもので使わなかったものは期限まで保管し、その間は同じ薬はもらわないようにしている。小さなことではあるが、この2つを特に気を付けている。しかし、私が小さかった頃は、体調を崩すと母が不安になってすぐに病院に駆け込んだり、治らないと何回も病院に行ったりしてしまったようだ。今は私も大きくなったので、この病院、この薬は本当に必要なのかをよく考え、とりあえず行っておこうやとりあえずもらっておこうという感覚はやめようと2人で話し合っている。私は、大人の人たちが一生懸命働いて納めてくれた税金を無駄遣いしてはならないと思っている。国民全員が、それぞれ小さなことでも節約できることを考えていかなければいけない。そうしないと、財政が苦しくなり、増税をいうかたちで、国民に負担が返ってきてしまうかもしれないからだ。

私達中学生は、学校で様々なことを学ぶのが大きな仕事だ。教科書を始めとする学校関連の多くは税金から用意してもらっている。それは、小学生の時からずっと先生から教わってきたことだ。最近では、アイパッドという高価なものまで一人一人に用意してもらっている。だから、それらのものを責任をもって、大切に扱っていかなければならない。また、そのような整った環境で勉強ができることに感謝し、これからも勉強を頑張っていきたい。

今回、税の作文を書いたことで、税金に興味をもつことができて良かった。改めて、私は税金によって支えられ、大きくなってきたのだと実感した。今、中学生の私にできることは、税金の節約を考えること、しっかり勉強すること、そして、税金の仕組みについてもっと知ることである。大人になったらしっかり働いて、次の子どもたちのために、税金を納めようと思う。そして、その税金を大切に使うほしい。

三重県教育委員会賞

「税金の大切さ」

鈴鹿市立天栄中学校 3年 伊藤 龍希

「低身長で治療が必要かもしれない。」

当時小学3年生だった僕は、検査の為に入院、そして診断後の毎日のホルモン注射は苦痛でしかありませんでした。あれから七年間ホルモン注射療法を今も毎日続けています。この注射はとても高価で自費診療だと年間百万円以上かかると言われています。しかし、諸検査によって成長ホルモンの分泌が不十分と証明されれば、国民健康保険、あるいは社会保険を使って治療を行うことができ、自己負担は三割まで減らすことができます。更に鈴鹿市では子ども医療費助成制度により、ほぼ負担無しで治療が受けられています。このような制度は、国民から集められた税金を活用して成り立っていることを僕は知りました。僕のように直接命に関わらない病気ではなく難病となり、長期にわたり治療を受ける必要がある人のための難病医療助成制度や、入院や手術などにより高額な医療費の支払いが必要な場合に利用できる高額医療助成制度などもすべて税金が活用されています。

しかし、この社会保障関係費がここ二十年急激に増加しています。その理由としてあげられるのは、急速に進む「少子高齢化」です。子どもの数が減って高齢者が増えると、医療や年金にかかるコストが高くなってしまいます。結果、社会保障関係費が上がってしまい、増税や年金支給開始年齢の引き上げなどの対策につながっているのです。僕は今までこれらの対策に対してあまり良いイメージを持つことができませんでした。しかし、国民の方々が税金を納めてくれることによって、僕のように十分な治療を受けられる国民が増えていることに気づきました。医療以外にも学校や公園、警察、国などによって私たちは助けられ、毎日を安心安全に過ごすことが税金のおかげでできていることにも気づきました。

納税は支え合いだと僕は思います。今僕は税金によって十分な治療を受けることもでき、学校に行って勉強をすることができています。学校では当たり前のように教科書がもらえるパソコンを使うこともできます。自分がそんなめぐまれた環境にいることにたいして感謝を忘れないようにしたいと思います。僕が大人になったら納税の義務をちゃんと守って納税し、少しでも社会に貢献ができるようなちゃんとした大人になりたいと思います。そのためにも2学期から本格的に始まる公民の授業で知識をつけていくことから頑張りたいと思います。



鈴鹿税務署長賞

税金と私達の生活

亀山市立関中学校 2年 廣森 悠乃

「税金」という言葉に私はあまり良いイメージを持っていません。買い物をする時など消費税のせいで物の金額が高くなっているのを見て、なぜ税金を払わなければいけないのか、税金は何に使われているのか疑問に思うことがたくさんあります。だから、私達が払っている税金は何に使われているのか調べてみようと思いました。

税金が何に使われているかという点、主に年金、医療、介護、子育て支援などに使われており、安心安全で健康的な生活を送るためだということが分かりました。その他に、私たちの使っている教科書も税金で作られていて、中学生の私も税金に助けられ生活しているということを知りました。

税金は、重い病気と闘う人への支援にもなっています。病気を治すための薬や、病院のベッドなどの費用などに使われており、人の命を救うためにも使われていることを知りました。

私達の生活をより良くするために使われている税金の他に、無駄に使われているのではないかと感じる税金もあります。私が無駄に使われていると感じたのは、コロナワクチンが期限切れで十万回分以上が廃棄されていることや、配布しなかった布マスクの保管費、東京オリンピックの経費の赤字など、どれも安くはないお金です。これらの他にも、今後見直していくべきことはたくさんあると感じました。

税金は、食品ロスにも関係しています。廃棄された食品を処理するのにどれほどの税金が使われるのか調べてみると、家で食べ残しや使わずに捨てられる「家庭系食品ロス」の処理費用は私たちの納めている税金から年間八千億円ほど使用されているということが分かりました。それを知って、とても衝撃を受けました。私はよく「税金が上がるのは困る」「これ以上負担をかけないでほしい」と思うけれど、税金が上がる理由は少なからず私たちの生活に関係しているのを知っておどろきました。逆にいうと、食品ロスを減らすなど私たち自身が生活を見直すことで、その分の税金を別の目的に当てることができるのです。

調べてみて、「税金」へのイメージが最初と大きく変わりました。今までは、税金を何のために払わなければいけないのか、何に使われているのか知らずに税を納めていたけれど、税金は私たちの生活を豊かにするために使われているということを知りました。そして、税金をより社会のために役立てていくには、私たち一人一人の意識と少しずつの努力が必要だということが分かりました。今私は中学生だけど、大人になったら消費税の他にも払わなければならない税があります。これからは、その税一つ一つどのように、どう使われるか、自分にはどのようなメリットがあるかを理解して税を納めようと思いました。



鈴鹿税務推進協議会長賞

税金のある幸せ

亀山市立中部中学校 3年 高木 花

私の中で税金というのはあまり関心が無いものだった。小学生の頃も、どんな風に日常で活躍しているのか分からなかった。だから、買い物に出かけて税込価格を見ると、とてもがっかりして「なぜ何か買うたびに税金がかかるんだろう。税金が無かったらもっといろんな物が買えるのに」と思っていた。しかし、最近税金の役割を知って、私達の日常を成り立たせているものでもあることが分かってとても驚いた。

よく考えたら、なぜ私達は教科書を無料でもらったのだろうか。なぜ救急車に乗るのにお金は必要ないのだろうか。他にもインターネットで調べてみると道路の整備やコロナウイルスのワクチンも税金が使われていることを知った。教科書や学校の机や椅子は当たり前を用意されて、当たり前前に授業を受けられると思っていた。税金は私の身の回りにたくさんあふれていたのだ。もし、税金が無かったら火事が起きて家が燃えていても誰も助けてくれないし、警察がいなかったら犯人が野放しのままだ。コロナウイルスのワクチンも税金で無料にならなかつたら受けなかった人もいただろう。

私が中学校に入って毎日のように通っている途中に車が多く通る交差点がある。そこには昔から信号機が無いのだ。自転車や人が車とすれすれでぶつかりそうになったことが何度もあって私の母はひやっとしたのだそうだ。私自身がその交差点を渡るときも全く車が一時停止してくれなくて困ったときもあった。たまたま警察の方が信号機の代わりとして立ってくれているが、きっと交差点に立って誘導するのは大変だろうなと思った。しかし、最近やっとその交差点に信号機が作られることが決まった。信号機が取り付けられるのも税金のおかげだと知って、税金には感謝しなければいけないと思った。

私の身の回りが快適なのは決して当たり前なことではない。これはみんなが協力して成り立つものなのだ。増税に反対する意見もあるが、それはそれで何か対策をするべきだと思う。あまりに増税しすぎて日常生活が苦しくなっては意味がない。しかし、税金は今の世界に必要なものだ。税金の目的や使い道をしっかり知ることによって税金は幸せに変わるものだとも認識して欲しいと思う。そして私も大人になって税金を納められるようになる。これから幸せに暮らしていくため、誰かが幸せになるように税金を納めたいと思う。

鈴鹿税務連絡協議会長賞

よりよい社会で生きるために

山形市立中部中学校 3年 小川 裕雅

家の近くの川の土手のスキの穂がたなびく頃、祖父のお墓参りに行くときに通るその川沿いの道は、草木が短く刈り揃えられ、綺麗な黄金色になる。

その道は、車がすれ違うにはギリギリではあるものの、自転車通学の中高生や道沿いの田んぼで農作業する人等、多くの地域の人が利用する田舎道だ。

この道の両側の草や木の枝が道側に張り出してくると、道幅が狭くなり見通しも悪くなって大変危険になるが、毎年、梅雨前の六月と枯草が茂る十月頃になると、業者の方によって、草は綺麗に刈られ、枝木はすっきりと剪定される。蒸し暑い時期と肌寒い時期の大変な作業。行政の方がきちんと計画的に事業を進めて、その業務を引き受けてくれる業者さんと、作業してくれる人がいてこそ、この美しい景観と共に私たちの安全が守られているのだと、いつもありがたいなと思っている。

こうした、緑地の保全や道路の美観を守る仕事は、社会保障費に次ぎ、多くの税金で賄われている公共財の整備（公共事業）のうちの一つだ。

今後、少子高齢化が進むと労働人口が減り、こういった公共事業の担い手がなかなか確保し辛いという問題も出てくるだろう。特に、体力を要し、工作機械を扱ったり、場所によっては危険も多い公共事業はなおさらで、今後は、工事費に加え、人件費、労働環境の整備にもまた費用は大きく膨らむに違いない。

これらを支えるために、これからの時代を生きていく私たちには、税金の負担は今よりも大きくのしかかると思う。

しかし、公共事業は、私たち国民生活の向上や産業の振興のために必要・不可欠なものであり、道路や鉄道、空港などの整備は、移動の自由を拡大し、国民生活や産業を活性化させ、上下水道、公園、住宅などの整備は、市民生活に最低限の生活環境や快適さを提供し、河川の改修なども防災面で不可欠な社会インフラの整備である。

例えば、水道事業においては、これまでに建設した水道施設は、毎年確実に老朽化していく。さらに、日本は地震などの自然災害が頻発する国であり、東日本大震災や近年の豪雨災害などの自然災害による水道の断水が多く報道されているが、このような断水被害を減らし、災害に強い水道施設を整備する必要もある。

このように、必要だけれど個人ではできないことを、税金によって創られた制度が実現し、社会を安全で豊かなものにしてきている。そのことを忘れず、私たちが大人になった時も、今のような住みよい国であるために、今度は僕達が今まで支えてくれた人々の生活を支え、みんなが生きる社会をより良いものにできるように、しっかりと税金を納める義務があると思う。常にその意識を持ちながら将来、社会の一員として貢献したい。

鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

「知らなかった税金」

鈴鹿市立夫木中学校 3年 村岡 歌音

私はいままで、おこづかいで欲しい物を買うとき消費税がすごくもったいないものだと思っていました。

例えば、税抜き価格を見ていて、レジでお金を支払った後にレシートを見たら思っていたより高かったりして消費税も年々増えていくばかりで私の中で消費税に関していい印象はありませんでした。

私は先日家族で美術館に行きました。私には弟がいて今は1歳でお出かけの時には、ベビーカーに乗っているのですが、美術館に行った時に最初階段しか見えなくて、え？階段しかないの？と思ったけど、ちゃんとスロープがあり体が不自由な方や小さい子どもでもいけるような設備が整っていて室内もすごくきれいで、弟もいたので受付の方が「エレベーターもありますよ」と伝えてくださり、安心して楽しい時間を家族で過ごすことができました。

あとから美術館も税金でつくられていることを知りました。他にもたくさんの生活に税金が使われていることを知りました。税金は、医療費負担などにも使われていて、病気をした人などに税金が使われていることを知り、私は今まで税金を身近に感じることはなかったけど、こういうところで私たちを支えてくれたところには、今回気づかされました。少し税金について知った今、私はもっと税金のことを知りたくなりました。

いろいろある中でも、1番身近に感じたのは義務教育費でした。

私たちが勉強している校舎、授業で必要な教科書などは、すべて税金によってまかなわれていることでした。

私は今まで学校がどうやって建てられているかなど気にしたことがなかったし、学校などがあることが当たり前だと思っていました。

でも、こんな当たり前があるのも税金を、支払っているからだと気づきました。

今回税金について、興味をもって調べていく中で、当たり前の毎日を過ごしていけるのは、私たちがいつももったいないなと思いながら支払う「税金」のおかげだと分かりました。毎日の生活では気づけないことだけど、私たちの生活を支えてくれる「税金」。

そして、私たちが支払う税金で、多くの人の手助けになれているかもしれないし、自分もいろんな人に支えられている、助けてもらっている。それが「税金」だと分かりました。こうして分かった今、いつも欲しい物を買う時の「税」の文字が、わたしにはもう、もったいない物には見えなくなりました。

小学生の税に関する習字

若松小六年
田端心陽

生税
活と

鈴鹿市立若松小学校
6年 田端 心陽

鈴鹿税務推進協議会長賞

丁宮小五年
林果穂

生税
活と

鈴鹿市立一ノ宮小学校
5年 林 果穂

鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

龜山南小六年
中根美歌

生税
活と

亀山市立龜山南小学校
6年 中根 美歌

金賞

稲生小六年
諏江咲季

生税
活と

鈴鹿市立稲生小学校
6年 諏江 咲季

井田川小六年
加藤柚花

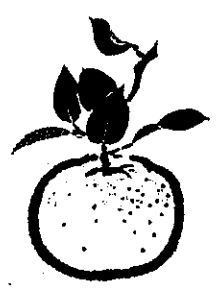
生税
活と

鈴鹿市立井田川小学校
6年 加藤 柚花

井田川小六年
宮崎心那

生税
活と

亀山市立井田川小学校
6年 宮崎 心那



銀賞

白子小五年
犬飼陽菜

生税
活と

鈴鹿市立白子小学校
5年 犬飼 陽菜

郡山小六年
伊田奏実

生税
活と

鈴鹿市立郡山小学校
6年 伊田 奏実

牧田小六年
藤田深月

生税
活と

鈴鹿市立牧田小学校
6年 藤田 深月

銅賞

玉垣小五年
鈴木萌華

生税
活と

鈴鹿市立玉垣小学校
5年 鈴木 萌華

旭立小六年
松田乃々華

生税
活と

鈴鹿市立旭が丘小学校
6年 松田 乃々華

国府小六年
寺田和未

生税
活と

鈴鹿市立国府小学校
6年 寺田 和未

龜山東小六年
森山莉乃

生税
活と

亀山市立龜山東小学校
6年 森山 莉乃

川崎小六年
上間桃彩

生税
活と

亀山市立川崎小学校
6年 上間 桃彩

中学生の税の標語

鈴鹿間税会長賞

鈴鹿市立神戸中学校 1年 久井 希彩

税納め 感じる責務 共に未来へ

三重県間税会連合会長賞

鈴鹿市立天栄中学校 1年 小川 心菜

世の中は 税金納めて 助け合い

鈴鹿税務連絡協議会長賞

鈴鹿市立神戸中学校 1年 小林わかの

ふるさとの 思い出残す 地方税

鈴鹿税務推進協議会長賞

鈴鹿市立神戸中学校 1年 野口 結生

税金で つながるひろがる みんなの輪

金賞

鈴鹿中等教育学校 1年 三井 結菜

税金を 納めて咲かそう 笑顔の花

亀山市立関中学校 1年 田中千咲子

税金を 納めて守ろう この暮らし

亀山市立中部中学校 1年 増矢 朱里

知ってこう 税の大切さ 未来のために

亀山市立中部中学校 1年 山崎 莉子

税を知る 心がつくる 明るい社会

鈴鹿市立白鳥中学校 1年 加藤真優奈

税金を 払う責任 使う責任

銅賞

鈴鹿市立白子中学校 1年 永田 聖弥

納めよう 未来のために 税金を

亀山市立中部中学校 1年 明石 知優

税金で みんなの生活 助かる税!

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 1年 権野 優羽

税金で 社会問題 解決だ

鈴鹿市立神戸中学校 1年 杉野誠太郎

税金は 社会を支える first step

鈴鹿市立創徳中学校 1年 伊藤 芽依

消費税 私でも出来る 未来への投資

亀山市立龜山中学校 1年 佐野 晴樹

納めよう あなたにできる 社会貢献

小学生の 絵はがきコンクール



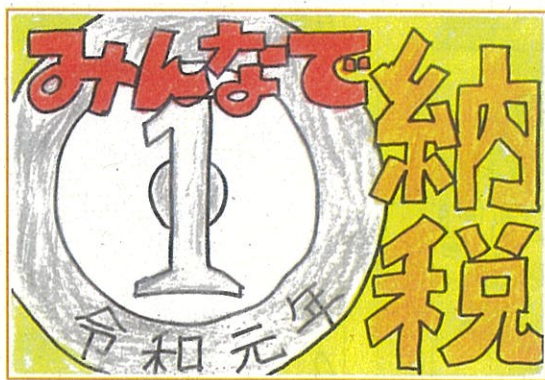
鈴鹿市立桜島小学校
5年 山田 茉莉

鈴鹿税務連絡協議会長賞



鈴鹿市立神戸小学校
6年 松村 綾音

鈴鹿税務推進協議会長賞



鈴鹿市立河曲小学校
5年 石川 芽生

公益社団法人
鈴鹿法人会女性部会長賞



亀山市立関小学校
6年 鍋島 杏奈

公益社団法人
鈴鹿法人会会長賞

(敬称略)

中学生の 税についての作文入選者

三重県教育委員会賞	亀山市立中部中学校 3年 中原 綾音	鈴鹿納税貯蓄組合連合会	金賞	亀山市立亀山中学校 3年 佐藤 優斗
三重県教育委員会賞	鈴鹿市立天栄中学校 3年 伊藤 龍希			亀山市立亀山中学校 3年 高田樹 貴也
鈴鹿税務署長賞	亀山市立関中学校 2年 廣森 悠乃		銀賞	亀山市立関中学校 2年 富山 知世
鈴鹿税務推進協議会長賞	亀山市立中部中学校 3年 高木 花凜			鈴鹿市立天栄中学校 3年 梅田 悠宇
鈴鹿税務連絡協議会長賞	亀山市立中部中学校 3年 小川 裕雅		銅賞	鈴鹿市立天栄中学校 3年 小菅 陽士
鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞	鈴鹿市立天栄中学校 3年 村田 歌音			亀山市立亀山中学校 3年 徳田 優衣
		鈴鹿市立天栄中学校 3年 井吉 駿介		
			鈴鹿市立天栄中学校 3年 岡田 小雪	
			鈴鹿市立天栄中学校 3年 真鍋 瑠里	
			亀山市立亀山中学校 3年 片本 雄基	

小学生の 絵はがきコンクール

金賞

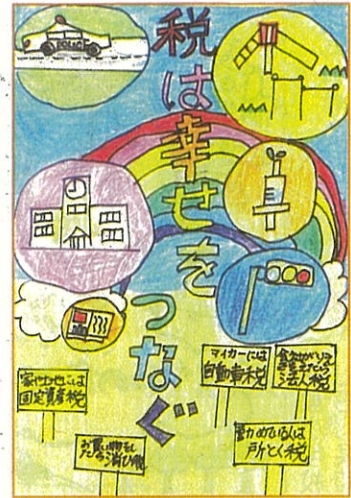


亀山市立川崎小学校
5年 馬路 あかり



鈴鹿市立清和小学校
6年 大森 美裕

銀賞

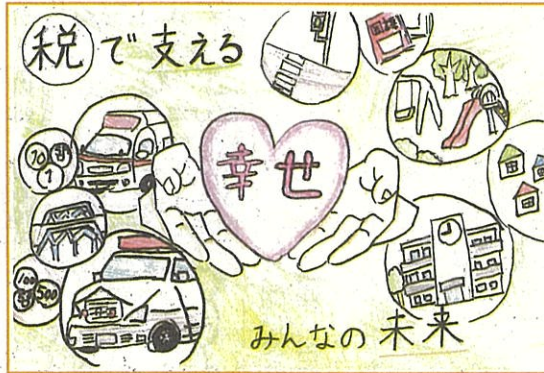


亀山市立川崎小学校
4年 中山 紬希

銅賞



亀山市立井田川小学校
4年 荒島 紗良



鈴鹿市立神戸小学校
6年 南条 優奈



亀山市立関小学校
6年 平山 湊



亀山市立川崎小学校
5年 大崎 ゆずき



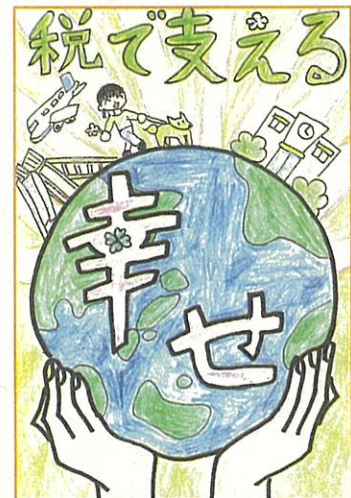
鈴鹿市立玉垣小学校
6年 太田 夏妃



亀山市立龜山南小学校
5年 中村 颯佑



鈴鹿市立国府小学校
4年 藤田 秀悠



鈴鹿市立若松小学校
6年 岸本 楓加